

# 令和7年度香川県動物愛護推進懇談会 要旨

日時：令和8年3月17日（火）10:00～12:00

場所：香川県社会福祉総合センター7階 第1中会議室

## 1 あいさつ

（香川県健康福祉部 長尾部長）

本県では、「香川県動物愛護管理推進計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいる。さぬき動物愛護センターを中心に適正飼養の普及啓発や犬猫の適正な譲渡に取り組むとともに、保健所では、地域で取り組む野犬、野良猫対策を推進し、殺処分の減少に努めている。このような取り組みにより、令和6年度には犬の殺処分数が過去最も少なくなったが、全国的にワースト上位であること、また今年度に犬の殺処分数が増加傾向にあることから、より一層の積極的な取り組みが必要と感じている。委員の皆様からご意見等をいただき、犬猫の殺処分数の減少と人と動物との調和のとれた共生社会の実現に取り組んでいきたい。

## 2 議題

### （1）会長の選任について

- 委員の互選により、中山 明紀 委員が会長に選任された。

・会長就任あいさつ

本懇談会は、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、香川県と高松市の動物愛護管理推進に関する施策や動物愛護推進員の委嘱に関する推薦等の必要な協議を行うために設置されたもの。本日は香川県動物愛護管理推進計画に基づく今年度の実績報告や来年度の計画等をご協議いただく予定。今後を見据えた具体的な議論ができればと考えているので、ご協力をお願いしたい。

- 事務局から「本懇談会は公開で行う」旨、説明があった。

### （2）香川県動物愛護管理推進計画令和7年度実施状況について

**事務局からの説明**

資料1：香川県動物愛護管理推進計画令和7年度実施状況

**委員からの質問・意見**

- 麻野委員

災害時の同行避難について、動物病院に来院する飼い主さんからは、どこかの避難所にいけばいいのかわからないという声を多く聞く。同行避難できる場所は周知されているのか。

◇事務局

県下の全市町を把握しているわけではないが、同行避難できる避難所を選定しているところもある。避難計画にも盛り込んでいるところもあるので、その中で事前に住民に周知することも可能と考える。ただ、アレルギーや鳴き声の問題もあり、避難所の選定には課題があると考えている。

- 西野委員

犬の殺処分数が令和7年度に増加した要因について教えてほしい。

◇事務局

これといった要因を特定するのは困難であるが、動物愛護センター開所以来、多くの犬猫を譲渡してきたことから、譲渡を受ける側が一定数に達し、譲渡数の減少が要因の一つと考えている。また、収容数が増加していることも要因と考える。

●麻野委員

殺処分の集計について、他自治体では安楽殺の数を出しているところもある。香川県では安楽殺の数も含まれるのか？また、譲渡については、高齢の方が譲渡を受けたくても断られ、ペットショップで購入したという話も聞く。高齢者へ譲渡する枠組みを検討してはどうか。

◇事務局

殺処分数については、環境省が定義した分類に基づき集計している。県が公表している殺処分数には、収容中に死亡した犬猫の数もいわゆる安楽死させた犬猫の数も含まれている。

(3) 香川県動物愛護管理推進計画令和8年度実施計画について

事務局からの説明

資料2：香川県動物愛護管理推進計画令和8年度実施計画

委員からの質問・意見

●寺山委員

実施状況のところと重なるが、地域猫のガイドライン作成とあったが、県独自のものか？また、地域猫活動自体を否定する方が一定数いると思われるが、成功事例について知ってもらうのも必要かと感じた。

◇事務局

猫のガイドラインについては、県と市が共同で作成したもの。内容は地域猫活動に特化したものではなく、猫の適正飼養全般の話の中で、猫に関する問題が発生した時の対応方法を記載しており、猫問題への対策の取組みを広く周知に活用できればと考えている。

●中山会長

今年度から実施されている飼い主のいない猫の不妊去勢手術支援事業について、実績を教えてほしい。

◇事務局

実績数は確定していないが、市町から交付申請があった実績としては、8市町で計818匹の計画で、県の補助額としては300万円弱の予定となっている。本事業は3か年の時限事業として予算措置をしているところであるが、この間の効果を見ながら、その後の継続等について検討していきたい。

●麻野委員

計画の中で、「人と動物の未来に向けた取組み」というのがあったが、素晴らしい取り組みだと思う。獣医師会でも動物感謝デーを検討しているところだが、ぜひこういう取り組みを実施してほしい。

●尾崎委員

県営住宅や市営住宅で動物の飼育は可能か？災害時のみならず平時から動物を受け

入れる環境の整備が必要と感じる。高齢者のペット問題についても、今後、必ず出てくる問題であることから、医療関係者や関係部署との連携が必要と感じた。

また、香川県では犬の収容数が多いということだが、これは野犬が多いからか？だとすれば、殺処分数のデータも野犬を分けて出すと多少印象が変わるのではない。

動物愛護推進員について、報告会などを実施しているか？定期的な報告会で事例の共有をできれば効果的だと感じた。

◇事務局

県営住宅等で動物の飼育はできない。県内で収容される犬の多くは野犬である。動物愛護推進員については、報告会は実施していないが、毎年書面での実績報告を求めている。また、2年間の任期の委嘱の際に研修会を実施し、注意点や事例紹介などを行っている。

●林委員

情報発信について、若い世代は主にスマートフォンで情報収集している。情報発信について、具体的にどのようなものを検討しているか教えてほしい。

◇事務局

現在のホームページ、SNSに加え、広報部門と連携し、YouTube 動画の発信などができないか模索しているところ。

●中山会長

今後の動物愛護推進計画の改正のスケジュールは？また、高松市内で新設される犬猫収容施設の概要について教えてほしい。

◇事務局

通常の流れとしては、法改正があり、その後、国の基本指針が改正され、それを受けて県推進計画の改正作業を行っている。国の動向次第であるが、令和9年度中に改正作業をし、10年度からの計画とする予定。

(高松市)

名称は高松市動物管理ステーションで、高松市池田町に開設予定。現在工事が終了し、令和8年度の早い段階で供用開始の予定。犬20頭、猫30匹収容可能で、収容動物の飼養管理や譲渡候補動物の馴化などを行い、返還やさぬき動物愛護センターで行っている適正譲渡を進め、殺処分数を減らしていくものと考えている。

●寺山委員

事例紹介だが、熊本県では、県営住宅の入居率が悪かったが、ペット飼育可としたところ、入居者が急増した聞いている。

◇事務局

関係部局に伝えたい。

3 その他

事務局から、次回からの開催方法について、現地開催とWEB会議を併用したハイブリッド方式での開催を検討していること、また会場について、さぬき動物愛護センターでの開催を検討している旨の提案があり、いずれの提案も委員からの了承を得た。

以上